



評  
Note  
Date /

a) 部分と全体(内包と外延)の関係を言語的に考える課題。  
ピアジェらによれば、幼児は部分と全体を同時に提示され  
ると、全体集合を部分集合の補集合としてしか比較し  
えないため「部分」<全体>へのはめこみが困難だとされ  
るが、過程をふまれば把握するようになる。

1) 問題を読ませ、読んで聞かせる。

© Adeamland  
6038  
金魚と黒い金魚  
クラス化 外延



よんで かんがえよう。

きんぎよばち にきんぎよが 12ひき います。

そのうち、7ひきは くらい きんぎよです。

きんぎよと くらい きんぎよでは、

「きんぎよ」の ほうが たくさん ありますか。

「くらい きんぎよ」の ほうが たくさん ありますか。

たくさん の ほうを まるく かこんで ください。

[きんぎよ]

[くらい きんぎよ]

かごに りんごが 8こ あります。

そのうち、5こは あかい りんごです。

りんごと、あかい りんごとでは、

「りんご」の ほうが たくさん ありますか。

「あかい りんご」の ほうが たくさん ありますか。

たくさん の ほうを まるく かこんで ください。

[あかい りんご]

[りんご]